

# 山形県感染症発生情報

第22週(平成22年5月31日～平成22年6月6日)

疾患名	報告数	増減	特記事項
(インフルエンザ定点 48)			
インフルエンザ	26	△	
(小児科定点 30)			
RSウイルス感染症	0		
咽頭結膜熱	7	▽	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	153	△	多発中
感染性胃腸炎	231	▼	多発中
水痘	79	▽	多発中
手足口病	41	▽	
伝染性紅斑	39	△	
突発性発しん	22		
百日咳	0		
ヘルパンギーナ	3	△	
流行性耳下腺炎	42	▲	
(眼科定点 8)			
急性出血性結膜炎	0		
流行性角結膜炎	1	▽	
(基幹定点 10)			
クラミジア肺炎	1		
細菌性髄膜炎	1	△	
マイコプラズマ肺炎	4	△	
無菌性髄膜炎	0	▽	

(▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少、多発中:報告数50名以上)

疾患名	報告数			累積報告数 (*平成22年1月～)
	第22週	1週前	2週前	
2類感染症				
結核	1	4	3	67
コレラ	0	0	0	0
3類感染症				
細菌性赤痢	0	0	0	0
腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	12
バラチフス	0	0	0	0
4,5類感染症				
E型肝炎	0	0	0	0
A型肝炎	0	0	0	0
オウム病	0	0	0	0
つつが虫病	1	0	0	1
ライム病	0	0	0	0
レジオネラ症	0	0	0	2
アメーバ赤痢	0	0	0	3
ウイルス性肝炎	0	0	0	1
急性脳炎	0	0	0	1
クローンフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	1	1
後天性免疫不全症候群	0	0	0	0
ジアルジア症	0	0	0	0
髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0
梅毒	0	0	0	0
破傷風	0	0	0	1
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	2
風しん	0	0	0	0
麻しん	0	1	0	2

- インフルエンザの集団発生が置賜地区の中学校から1事例確認され、迅速診断検査を実施した26名の型別は全てA型であった。一部の検体から衛生研究所で新型インフルエンザを確認している。
- 感染性胃腸炎は、前週とほぼ横ばいであった。しかし、南陽市、山形市の医療機関で定点当たり報告数が多いので、注意が必要である。(南陽市:17.5人、山形市:14.0人)
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、長井市、高島町、寒河江市の医療機関で定点当たり報告数が多い(長井市:11.0人、高島町:10.0人、寒河江市:10.0人)
- 手足口病は、前週とほぼ同数であった(報告数が多い定点 長井市:6.0人、米沢市:3.5人)。
- 水痘が前週に比べ、やや減少した。長井市、東根市の医療機関で定点当たり報告数が多い。(長井市:11.0人、東根市:8.0人)
- 伝染性紅斑は、庄内地区で再び増加した。(鶴岡市:5.0人)
- 結核の患者が村山地区から1名(東南村山 1)報告された。
- つつが虫病の患者が、置賜地区から1名(東南置賜 1)報告された。2000年以降の第1例目の報告(第16週～第20週)の中で最も遅い報告であった。
- 第21週の報告分として、麻しん患者(修飾麻しん、血清IgM抗体の検出)が庄内地区から1名追加報告された(76才、推定感染地域:県内、ワクチン接種歴:不明)。麻しん排除に向け、麻しん全例検査診断をお願いします。

(6月8日現在 山形県衛生研究所)